

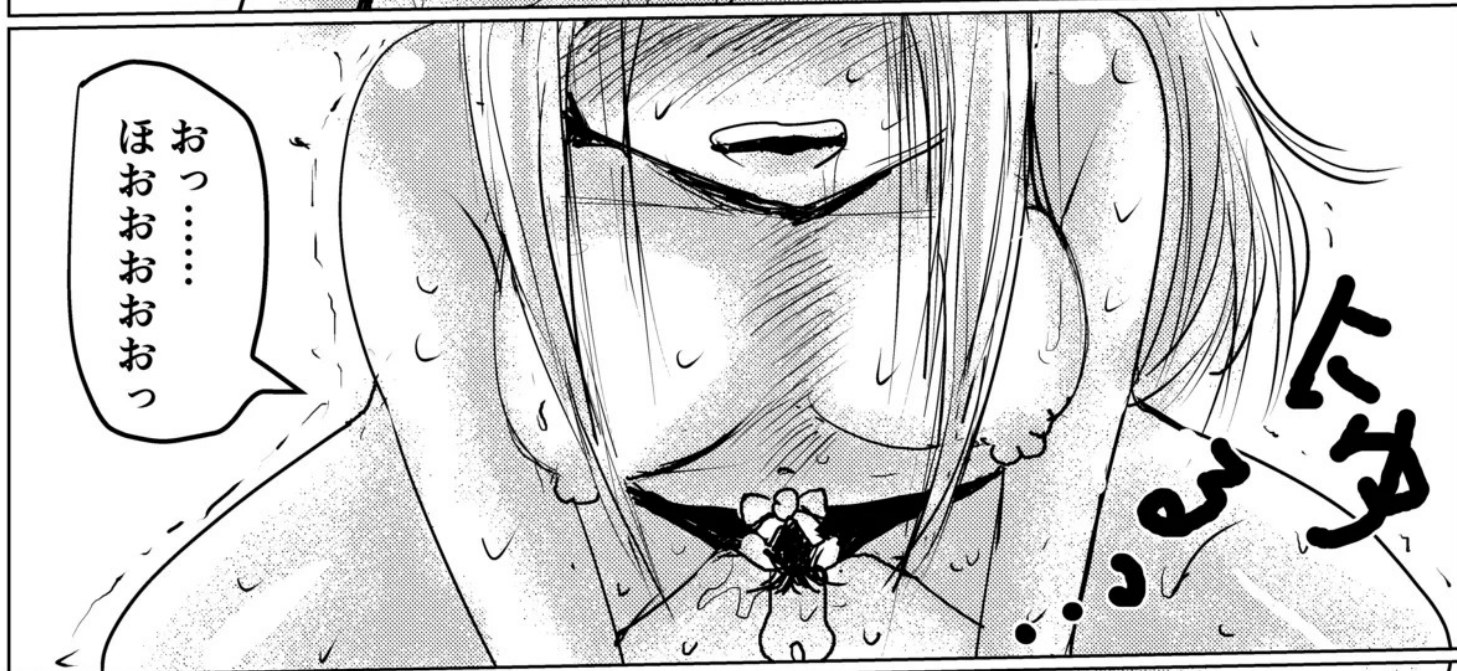
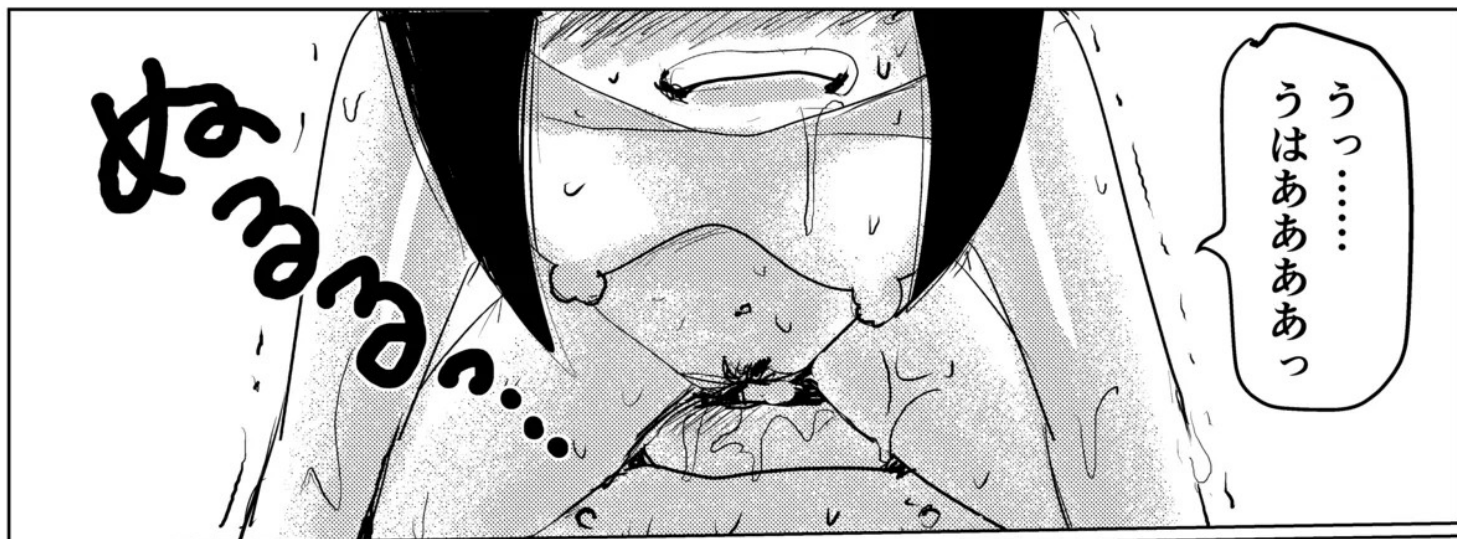


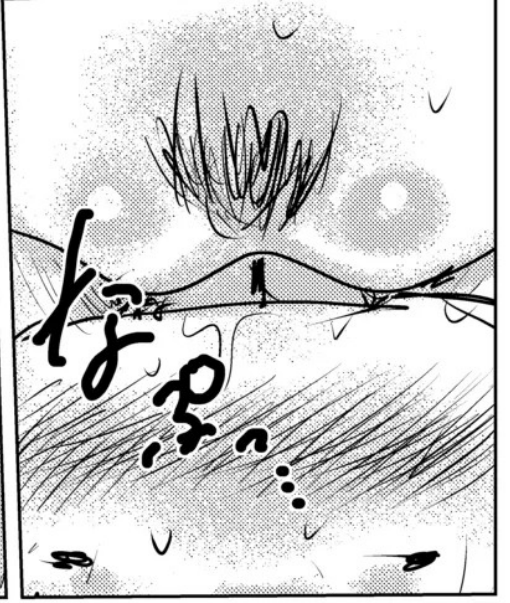
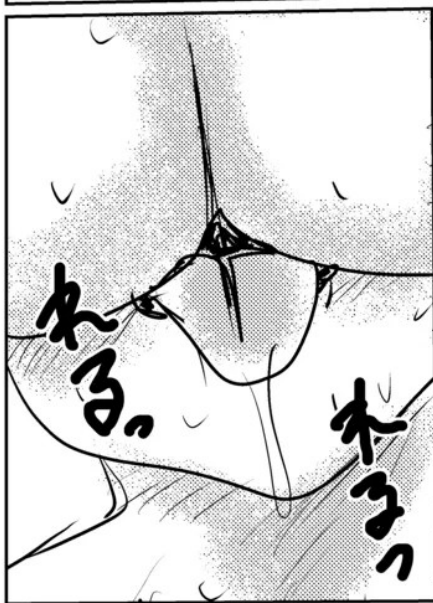
クラスメイトの女子とその母親に見初められた
思春期真っ盛りで性欲満タンの僕は
彼女たち相手にパキパキのおち○ちんから新鮮な精子を
どぴゅどぴゅと、子宮にぶっかけるのだった

第三話













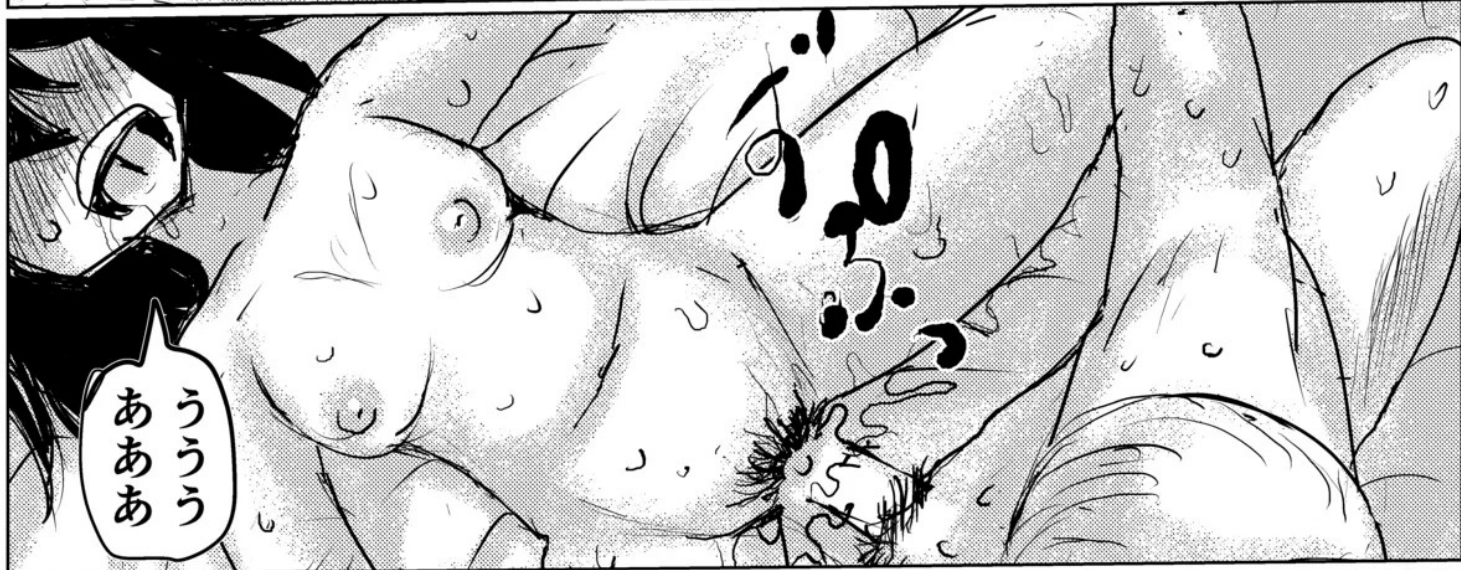
やっぱり、
私に
戻ってくるのか？

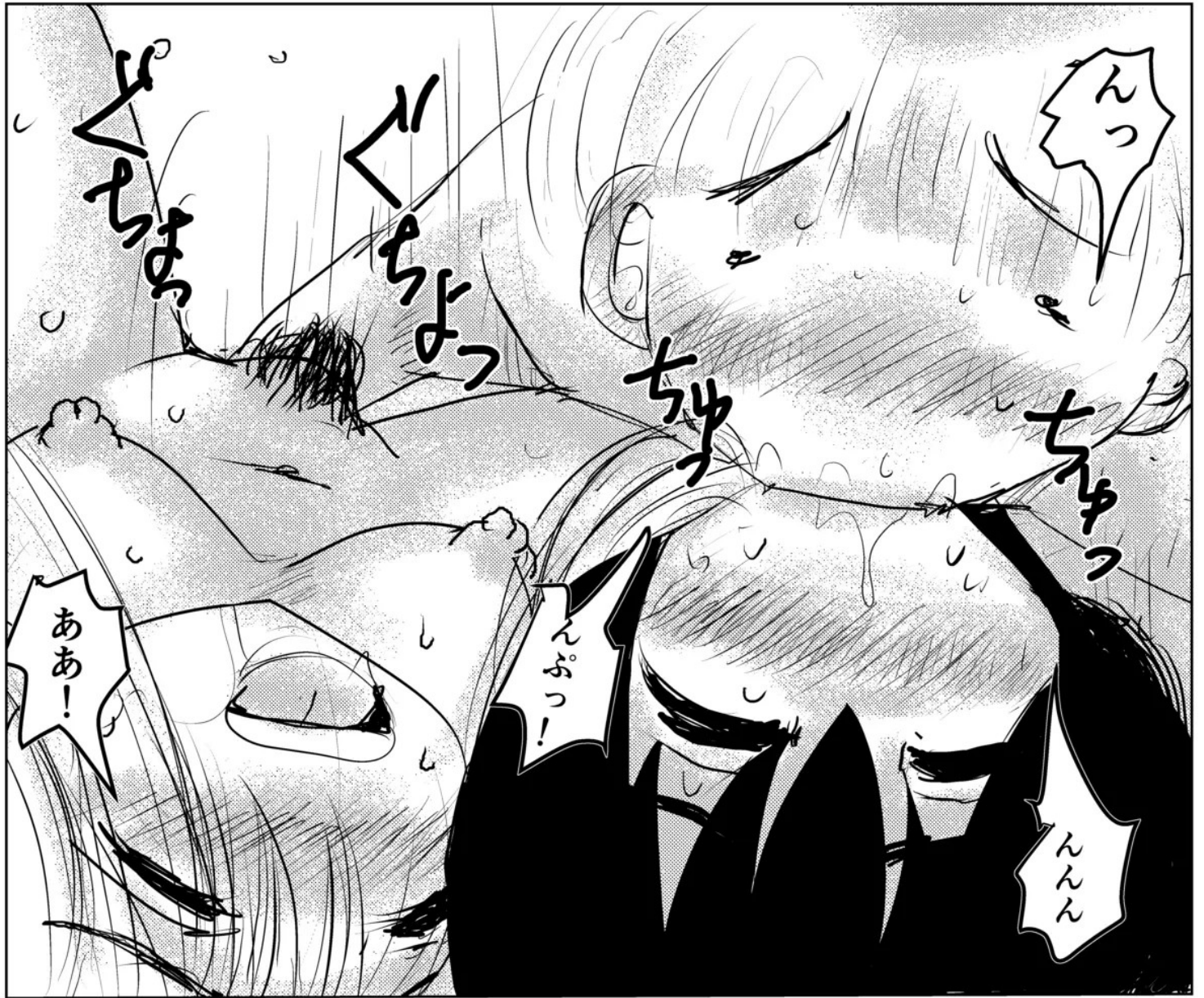
くほ？



やっぱり、
わたしのところに
来るのか……











すっ
3.0
1.1

すっ
3.0
1.1

すっ
3.0
1.1

すっ
3.0
1.1

すっ
3.0
1.1

あっ
あっ
!!

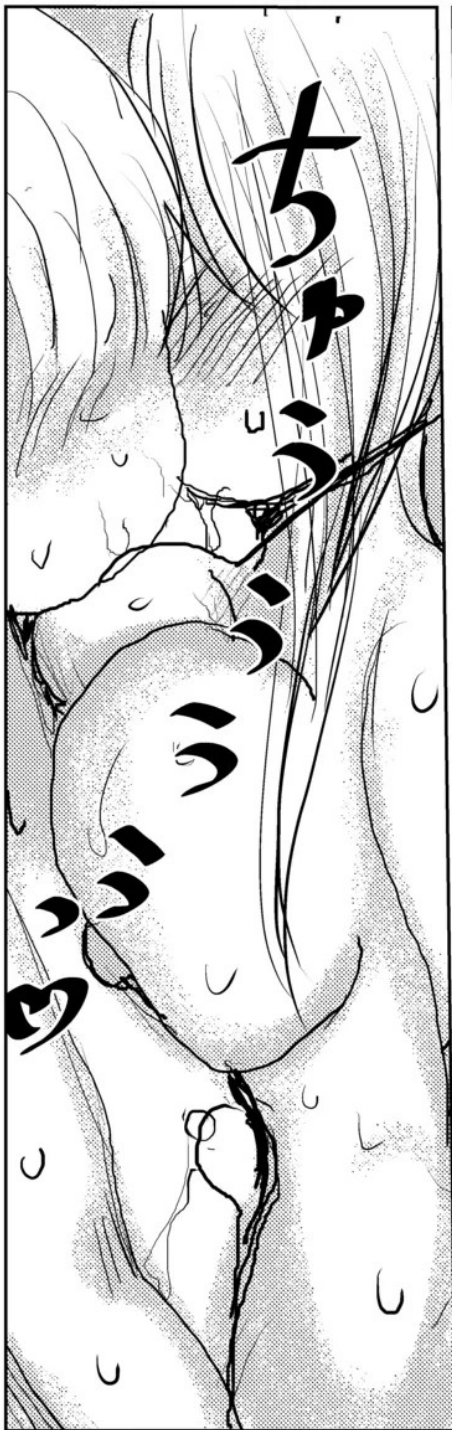
ち○ぽ
熱い!

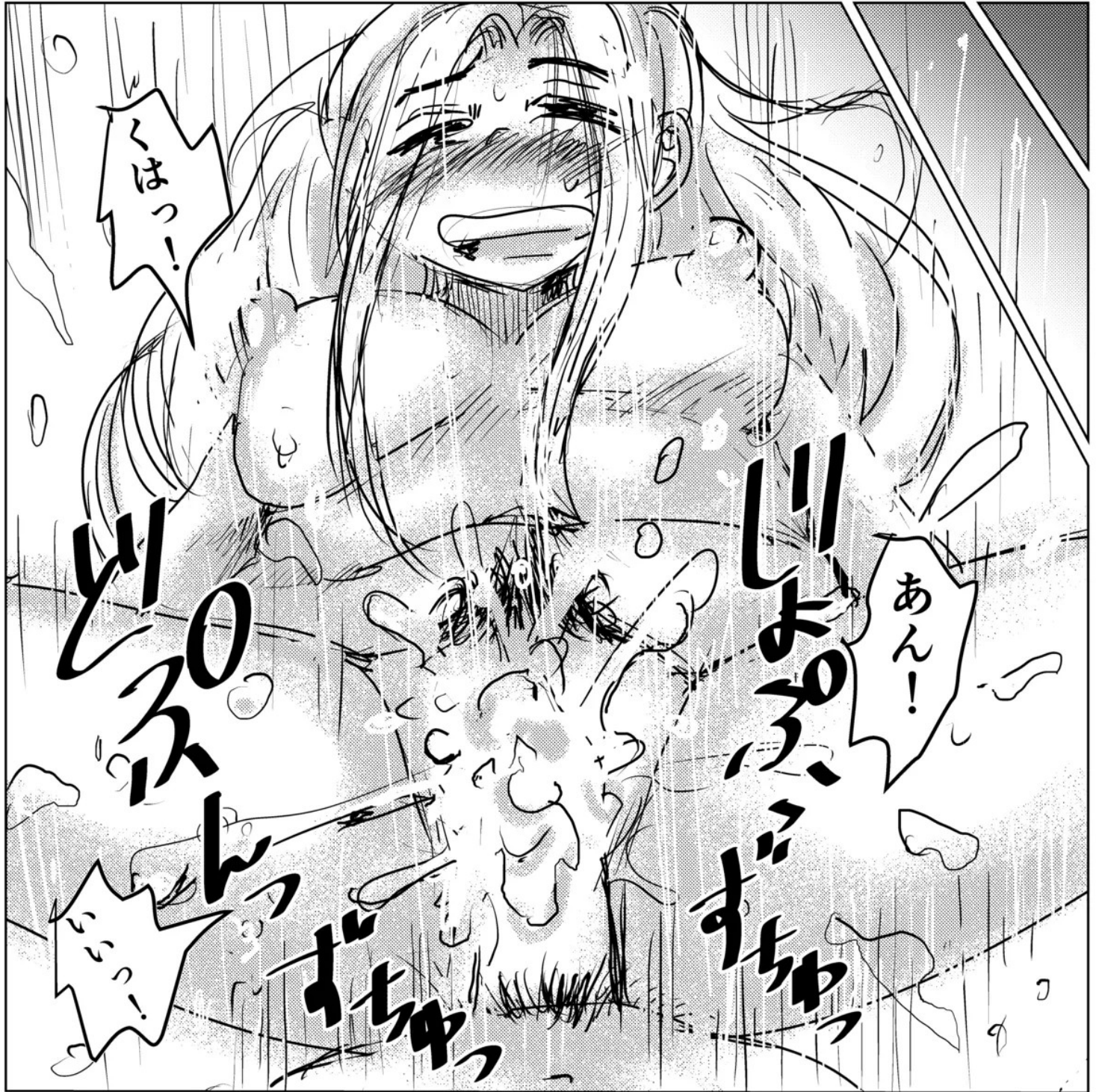
うは!

ま○こ
溶けちゃう!

















春斗



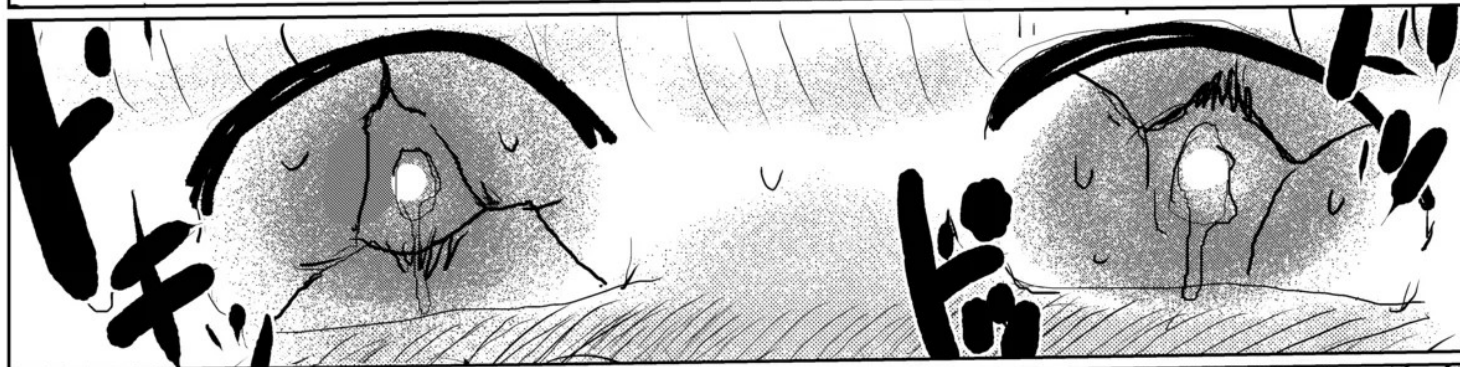
ね、
春斗くん



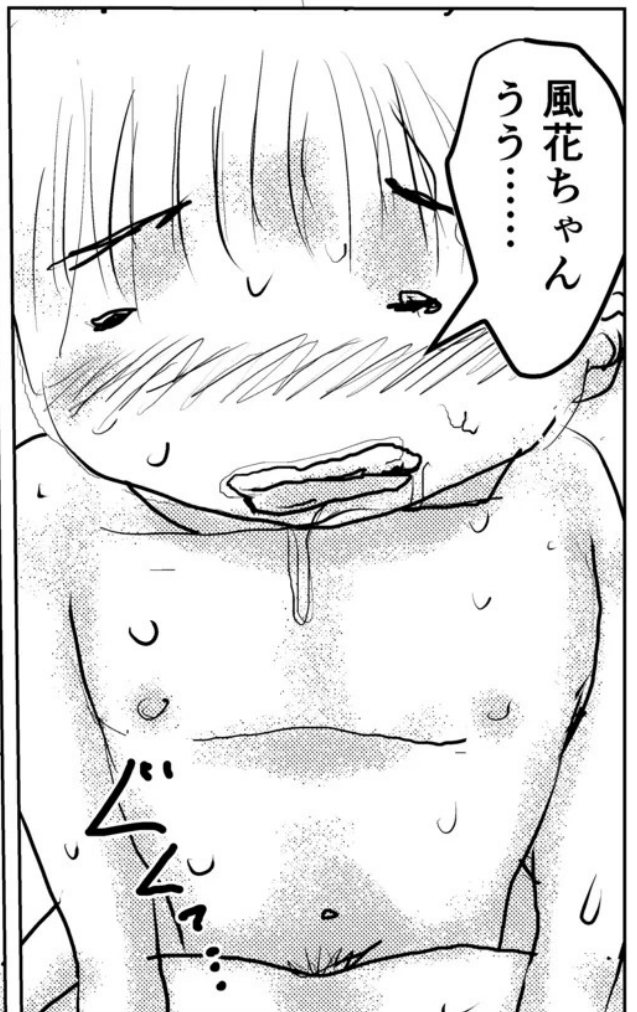
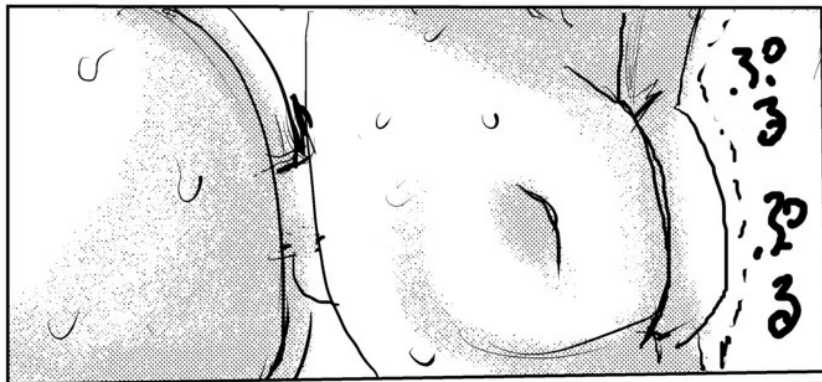
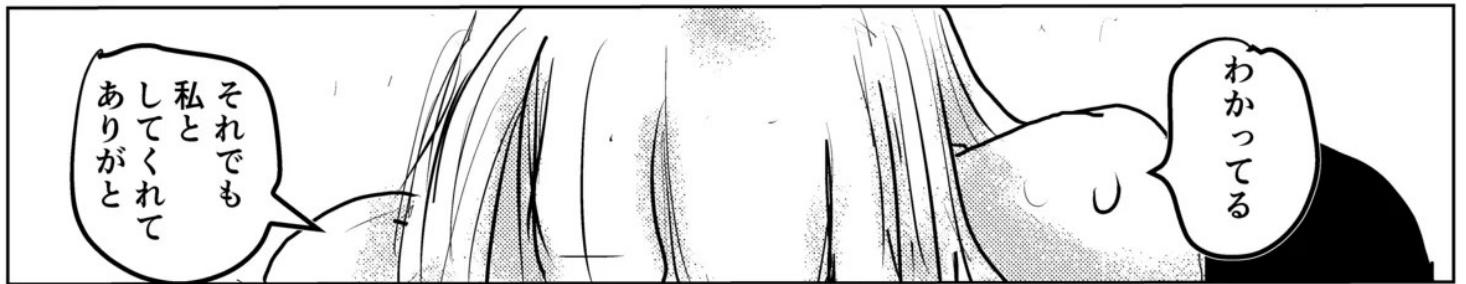
これが最後
じゃないよね
春斗……

最後に
どちらかを
選んで……

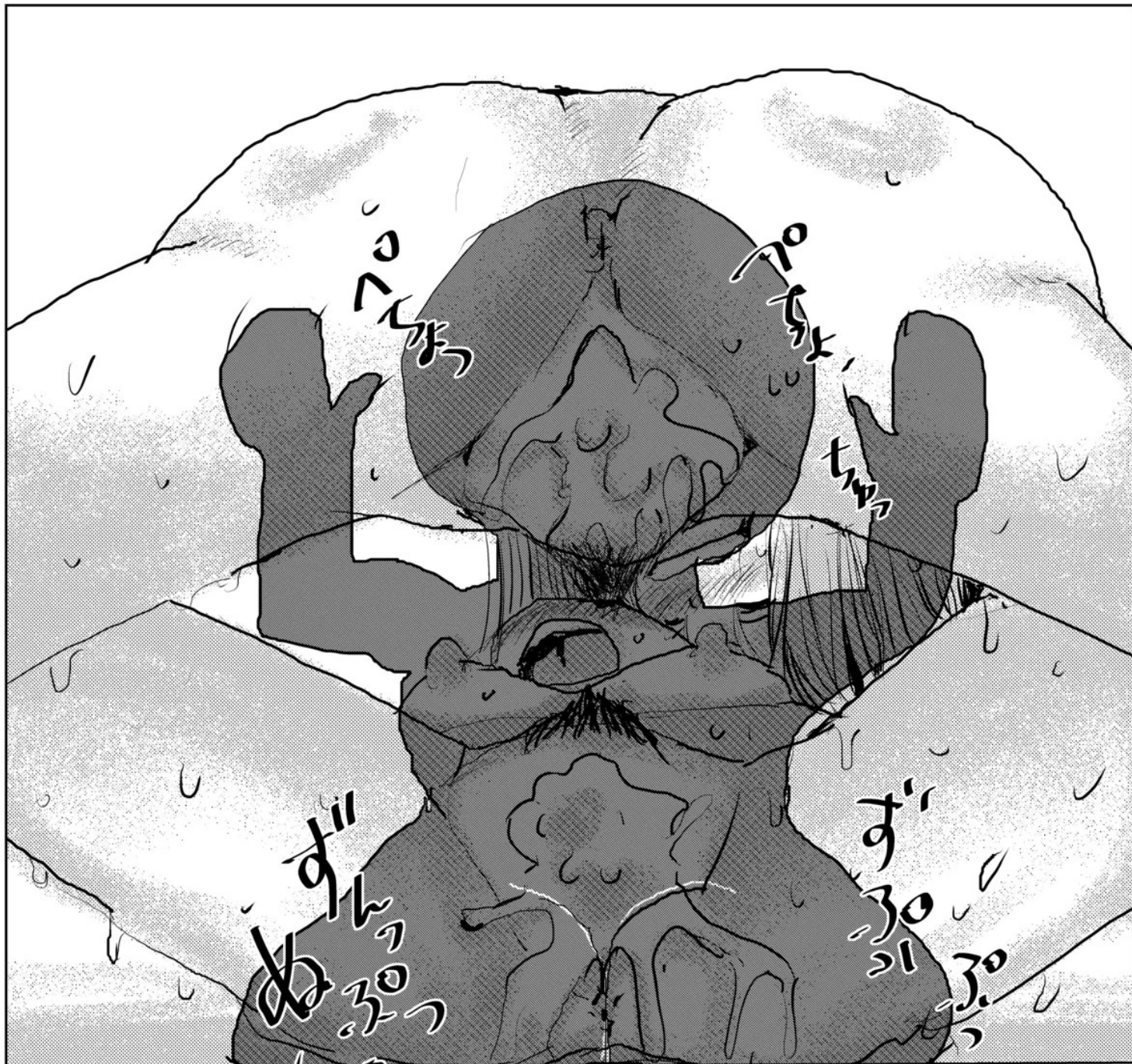
どろろ
どろろ



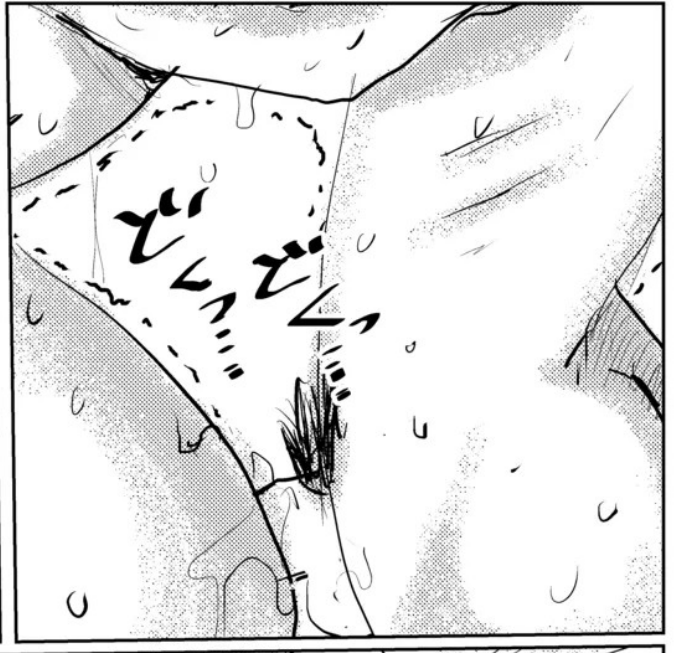


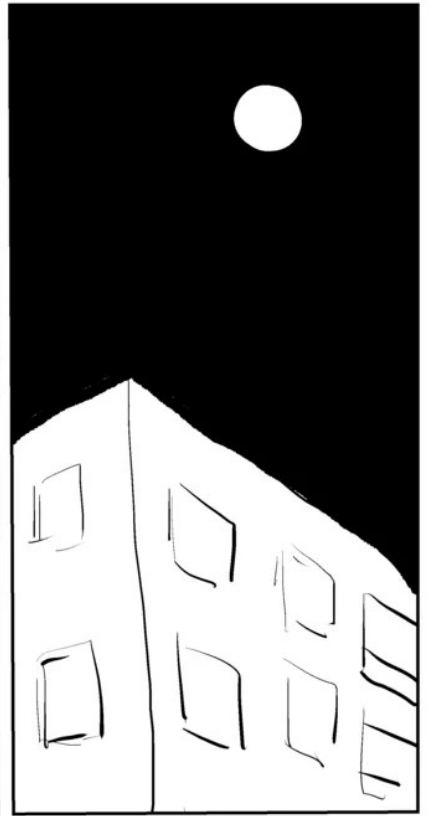
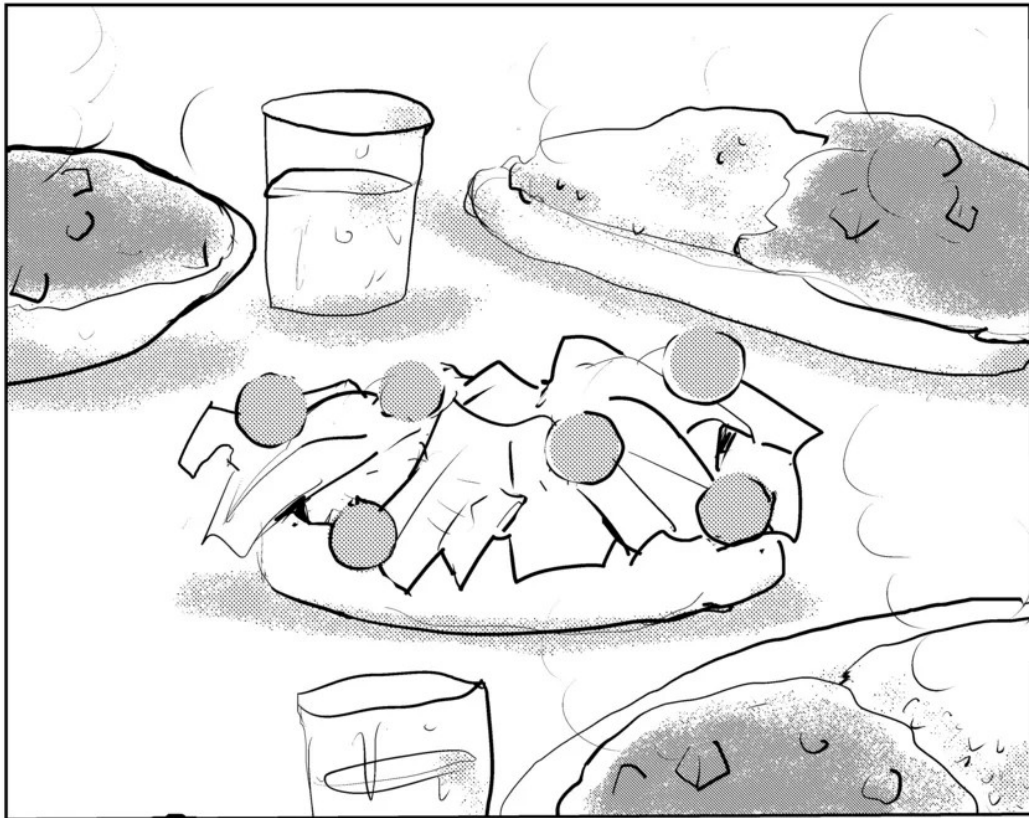






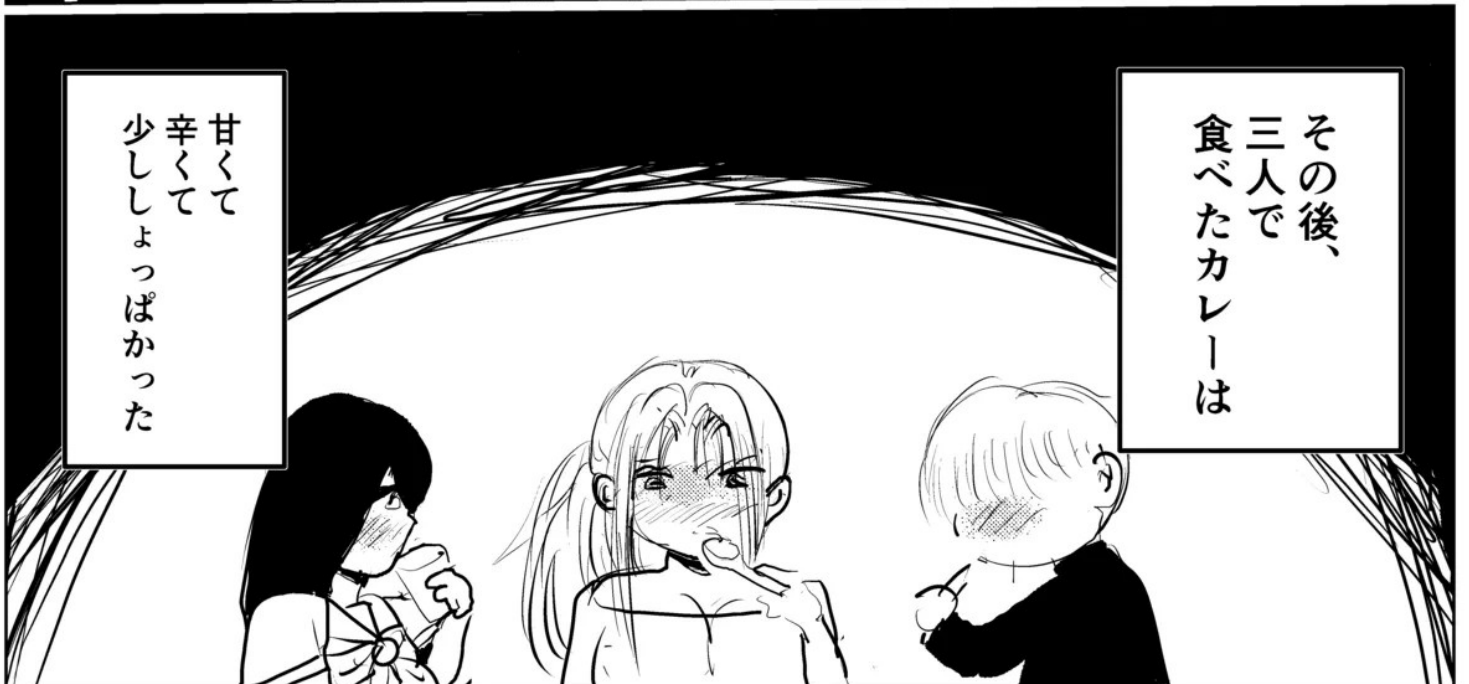


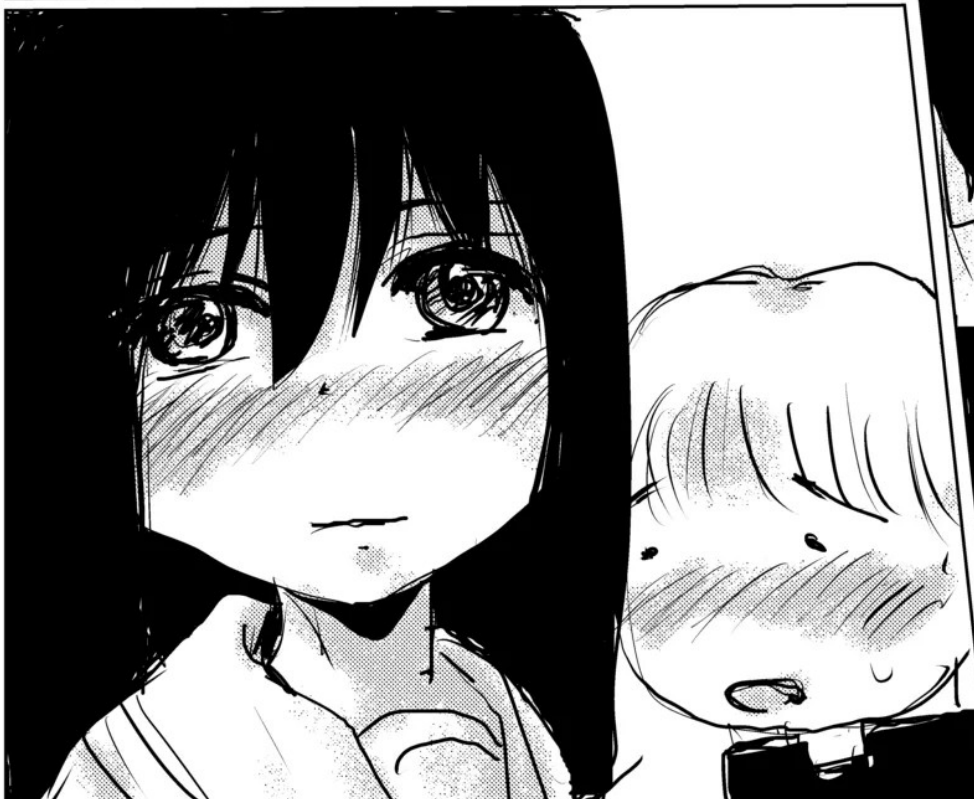
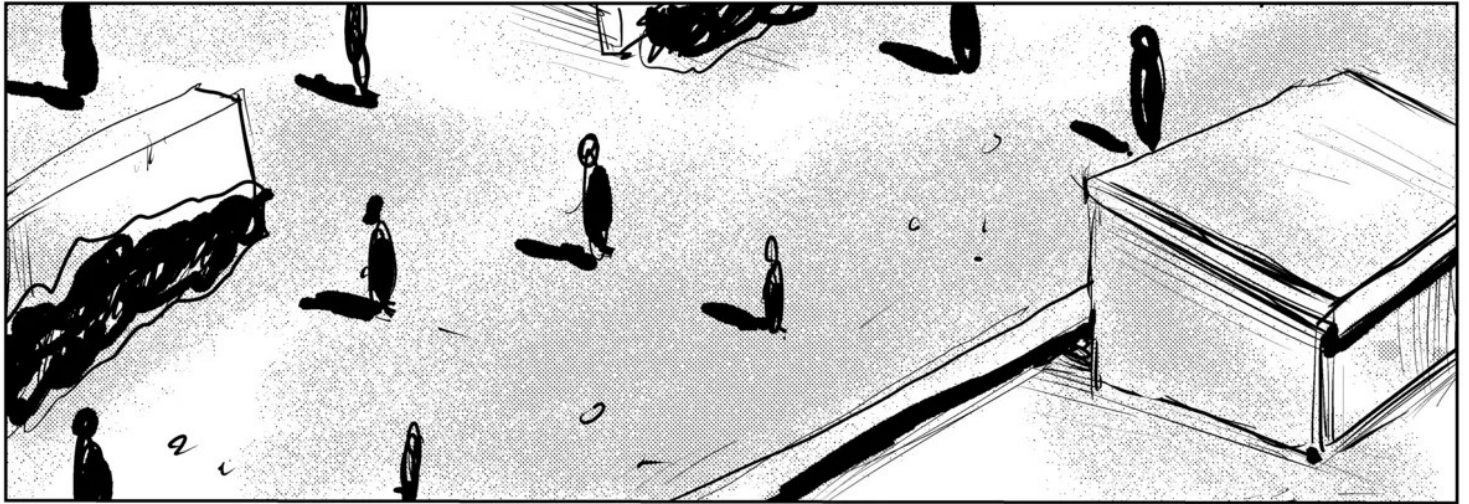




甘くて
辛くて
少ししょっぱかった

その後、
三人で
食べたカレーは







カレーを食べた後、
明美さんは姿を消した
僕達の前から去って行ったのだ

明美さんは、
僕と風花のために、
身を引いたんだ……



それから
三ヶ月後



あ

ああ!

僕と風花は
明美さんがいた
部屋に
住んでいる



風花
いくよお!

春斗
私も!

どこかにいる
明美さんからは
毎月仕送りが
入って来る



同級生相手に売春しなければ
ならないほど困窮していた
明美さん……
そんな彼女から多額の金が
風花の通帳に振り込まれる

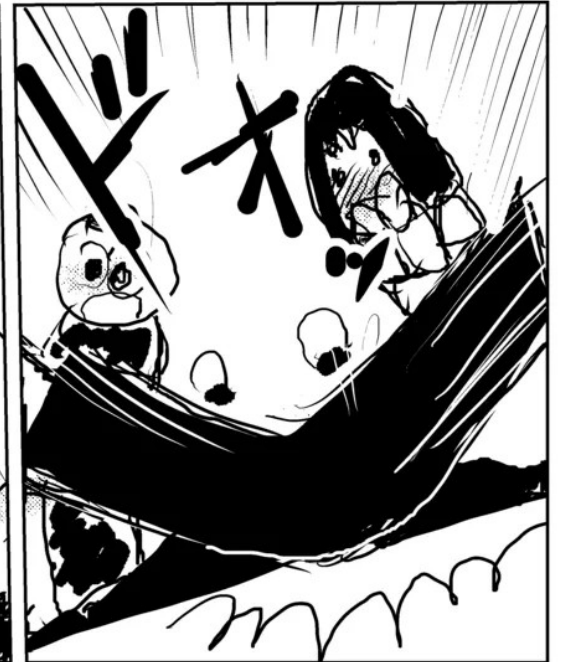
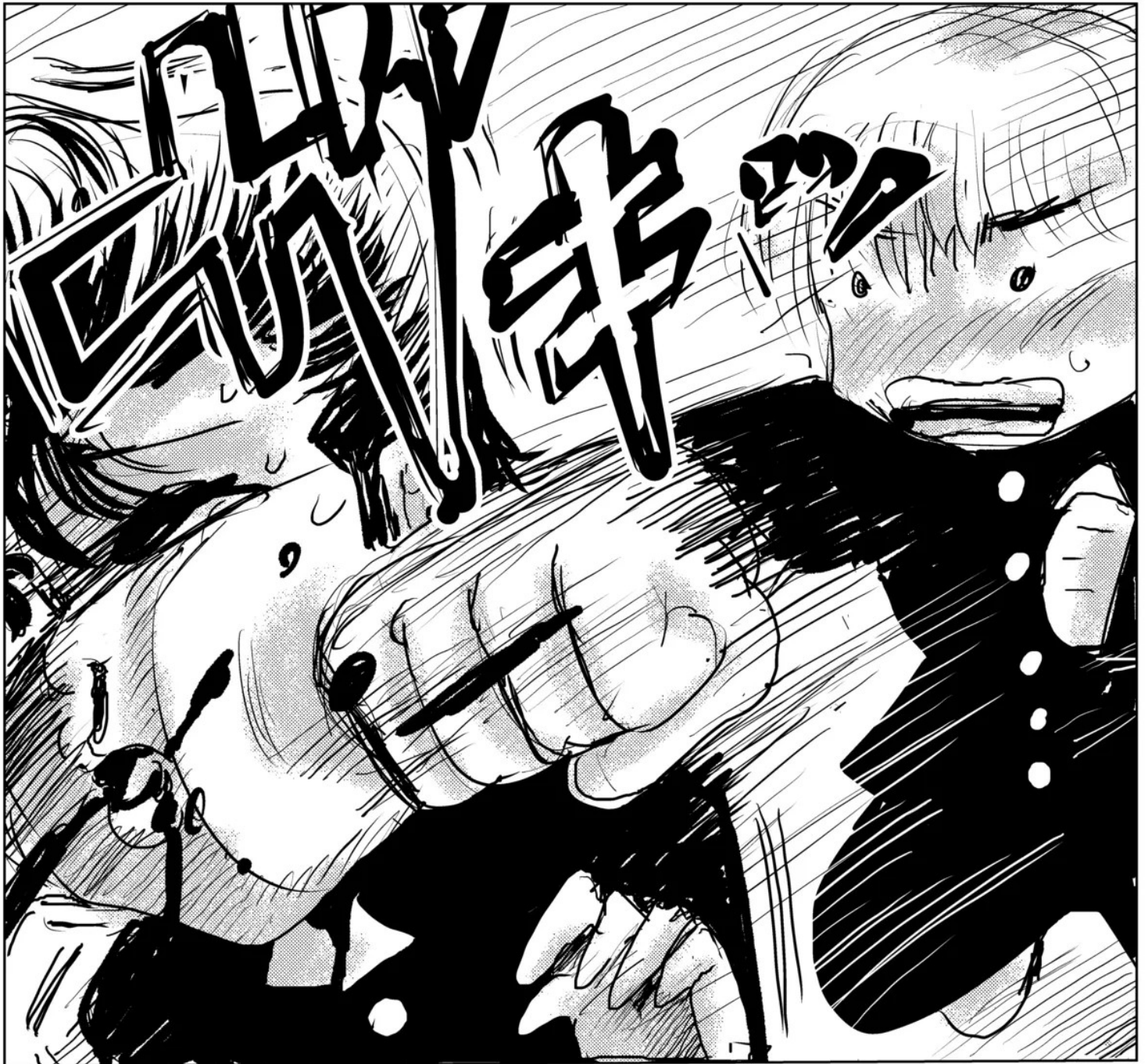
彼女は一体、
どこで何をしている
んだろう……

そんなある日……









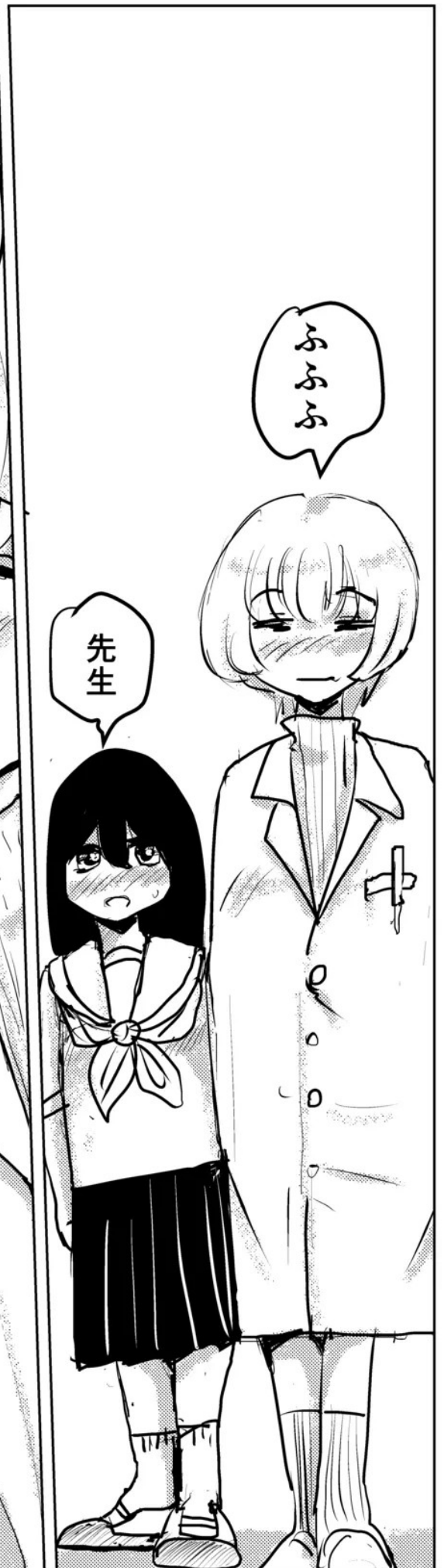


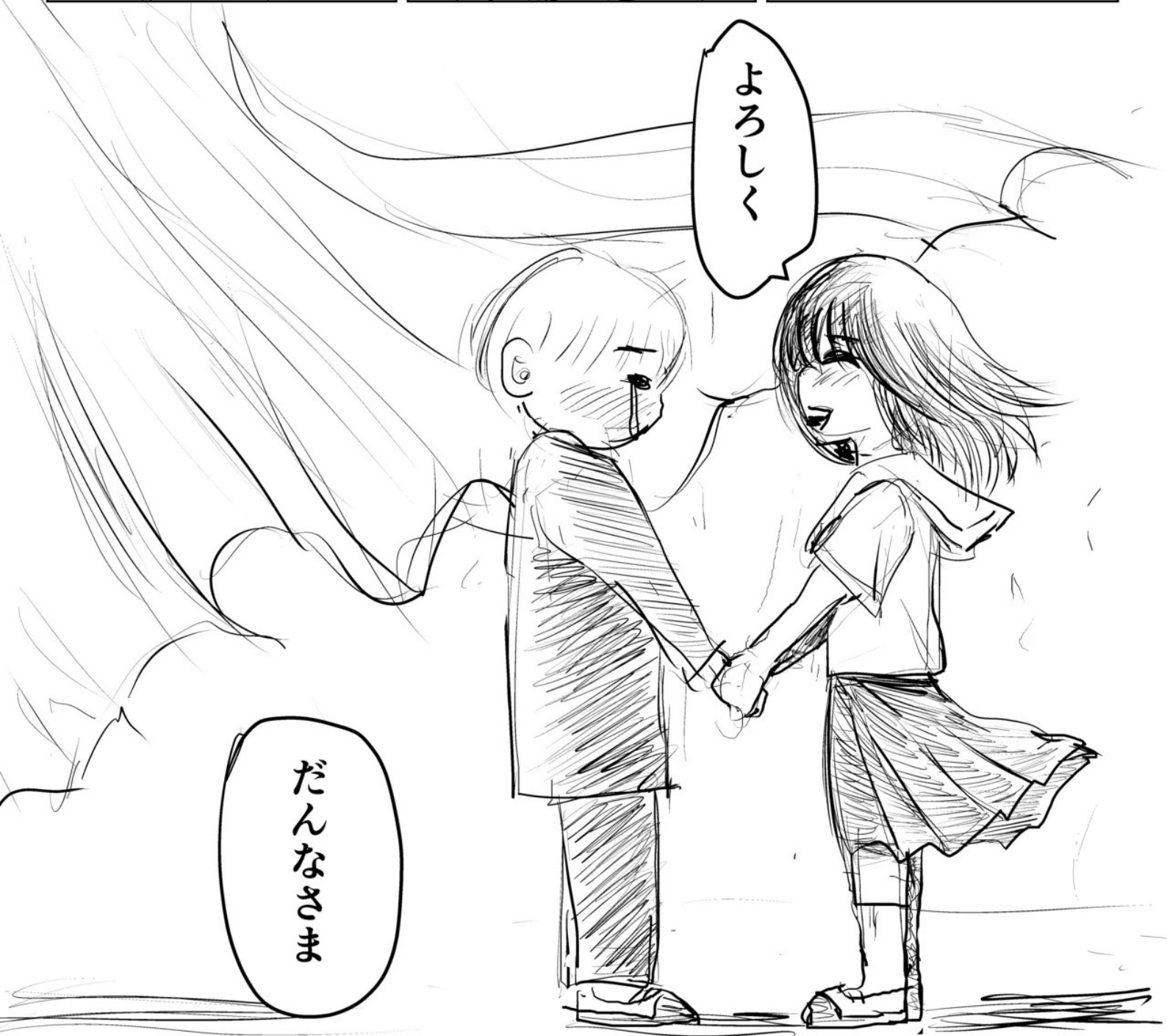
うるせー!

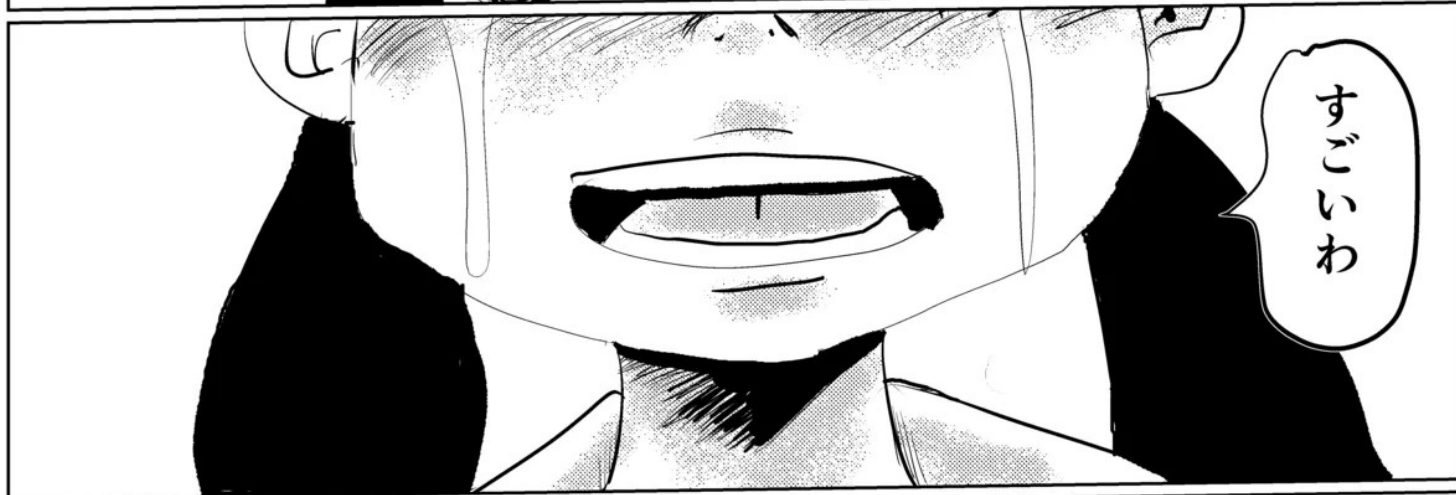
僕のこととは何て
言われても構わない!
だけど、彼女のは許さない!
侮辱するの!

僕は誓う!
彼女を幸せにする!
学校卒業したら
すぐに働いて、
彼女と僕らの子供を
幸せにするんだ!

春斗



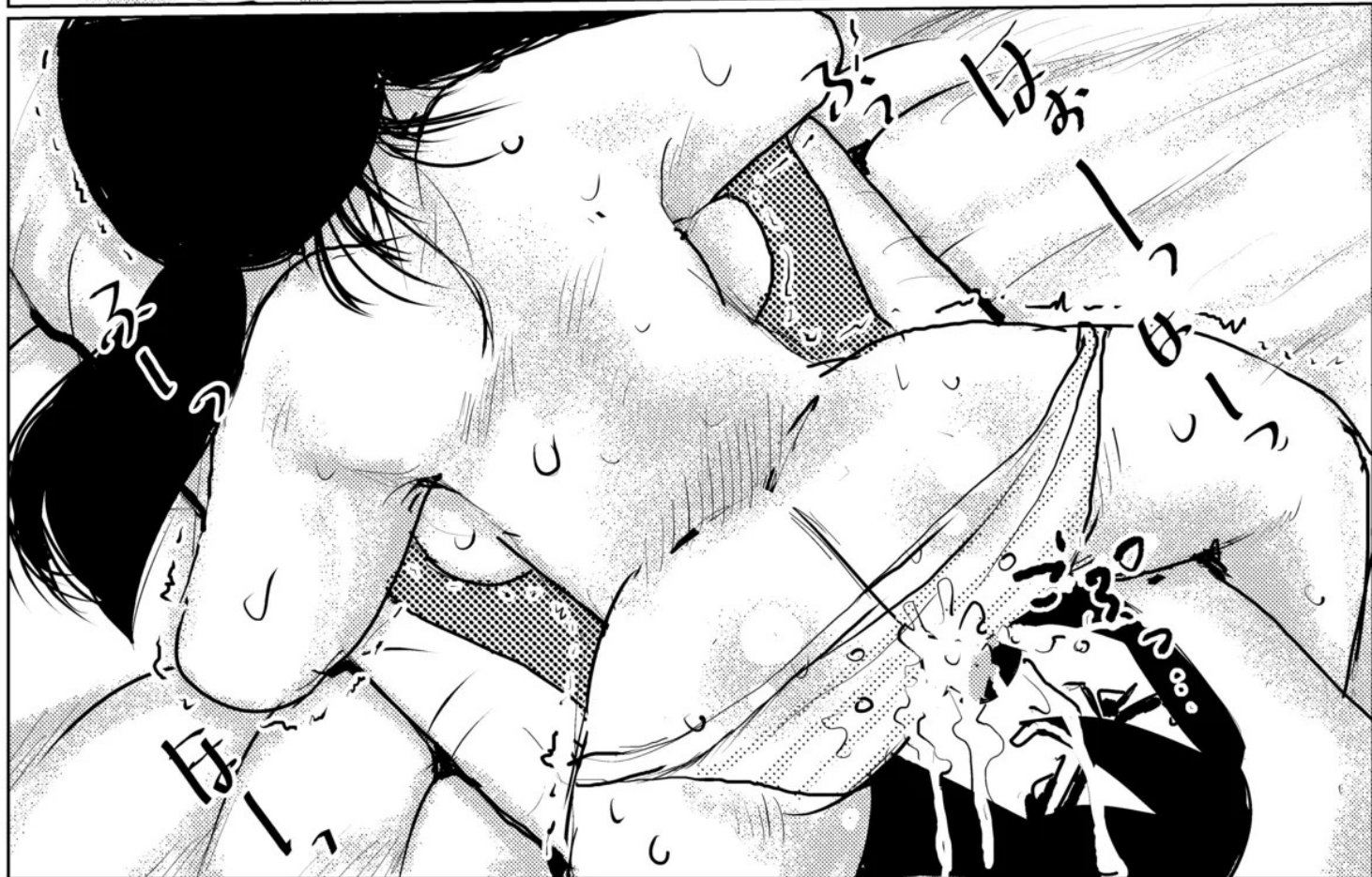














たまるん……

春斗君、
私と
エッチして
ほしい……